

うきやど 既戸

発行：社会福祉法人 聖家族の園 理事長 杉山貴美子
〒411-0936 静岡県駿東郡長泉町元長塗888-69 TEL 055(989)0250 FAX 055(989)0252
E-mail: seikazoku-akira@tiara.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.nagaizumi-home.jp>

広報誌20年のあゆみ

The collage displays approximately 15 different issues of the 'ukiyado' newspaper, arranged in a grid-like fashion. The issues vary in design, with some featuring large green stylized letters at the top and others using a more traditional layout. Many issues include black and white photographs of people, events, and landscapes. Some issues have pink or yellow highlights. The issues are dated from various years, showing the evolution of the publication over time.

理事長あいさつ

～初代創設者の想いを受け継いで～



故 杉山 旭

平成24年4月10日、社会福祉法人 聖家族の園は創立20周年を迎えることが出来ました。長年の温かいご支援心より感謝申し上げます。

設立した杉山旭は、宮沢賢治を尊敬していました「雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ丈夫な体をもち、欲はなく決して怒らずいつも静かに笑っている、あらゆることを自分を勘定に入れず、よく見聞きし、分かり、そして忘れず、西に疲れた母あれば行って、その稻の束を負い、南に死にそうな人があれば行って、こわがらなくていいといい、そういう者に私はなりたい」旭園長はきっとそう生きたいと願っていたでしょう。

ながいすみホームは、「恵まれた自然の中で安全で安心して、ゆっくりと豊かな格調高い老後生活」をスローガンに開園しました。神様のお恵みと地域の皆様の温かいご理解、ご協力をいただきながら職員は献身的な介護をし、ご利用者の皆様やご家族の方々にたいへん喜ばれて参りました。

当時、長泉町には特養ホームもなく、地域のご家庭でのお年寄りの介護に困っている話しを聞き「何かお役に立ちたい」と強い意志を持ち、たった一人で準備を始めました。国・県・町と地域の方々にもこの思いと建設の許可のお願いに歩いて廻る毎日でした。夏の暑い日々、荒れた原野を自ら下刈りし、建設中は工事に携わる人たちの安全を祈りに、毎朝愛犬を連れ建設現場に来っていました。

平成4年4月待ちに待った開園を迎えることができました。一生の中でもたいへんうれしいことでした。私たち職員30人は手さぐりの介護の出発でした。「お年寄りの心を大切に」を基本として介護サービスの提供に努めてきました。旭園長は、「お年寄りには、動物との触れ合いがいい」とウサギや山羊を飼い始めました。県の方もそれを見て導入し、今では多くの施設や学校でアニマルセラピーとして行うようになりました。「また野菜作りもいいと」畑を耕し、お年寄りと一緒に種まきをし、収穫も共に喜び合っていた姿が思い出されます。お年寄りが住みやすく利用しやすい、そして温かい施設にと日夜気を配っていました。忘れない事の一つに、一人暮らしの方が入所され、とても瘦せていて身体も硬直し寝たきりの状態でした。「何とか車椅子に乗れるように」と自ら毎朝、食事の介助をしていました。大分経って、どうとうその方は車いすに座れるようになりました。最後は自分で移動できるまでになりました。ご本人と園長はどんなにうれしかったでしょうか。

それから園長は体調を崩し、そんな状態でも頑張り通しましたが、とうとう平成6年5月31日神様の身元へ召されて逝きました。聖書にもあります「一粒の麦は地に落ちて死すが、たくさんの実をつける」、園長も神様のご使命であったのでしょうか。

私はただ、「お年寄りを護らなくては」「創立者の意志を継いで行こう」とそれだけを思い職員の皆さんにも協力していただいて参りました。

多くの方々から励ましやご指導ご支援をいただき、ご利用者様、ご家族様、役員の皆様、そしてボランティアの皆様、他の施設の方々にも大変お世話になり今日に至っております。いつも感謝しております。そして地域の皆様にも可愛がられてこそ存続できるものだと思っております。

平成19年には清水町に小規模多機能ホーム「希望のわだち柿田」を開設しました。在宅におられる方が通い、泊り、そしてご自宅への訪問と幅広い支援をしており、すばらしい事業だと思っております。先日も伺いましたところ、みなさんの笑顔と安心したお顔が見られました。これからますますご利用して下さるよう願っております。

平成4年の開園に旭園長が植えた桜も毎年見事な花を咲かせ、皆様のお部屋から、入浴しながら楽しまれています。又、この20周年を記念して植えたマロニエの木もこれから大きく育ち、皆様にきれいな赤い花とお散歩時の木蔭を作ってくれることでしょう。

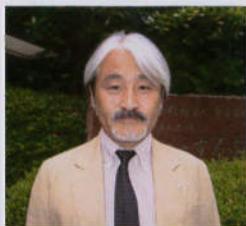
ひらがなで「ながいすみホーム」と書く、やさしいホームを続けて参る所存でございます。

これからも聖家族の園は高齢者の拠点として、誠心誠意を尽くして参りますので、変わらぬご支援、ご協力ををお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。



施設長あいさつ

『法人創立20周年を迎える』



法人ならびに「ながいすみホーム」はおかげさまで満20歳を迎え、早3ヶ月が経とうとしています。記念イベントも無事に終え、職員一同ホッとしているところです。

ちなみに、20年間連続（!!）で働いている職員は、私も含め4名になってしましました。リターン組や、初期メンバーということで19年・18年組もカウントすると、もっと数は多くなるのですが。

開設当時は現在の職員数の1/4程の人数で、振り返ると良いも悪いもひっくるめて「よくやっていたなあ・・・」と。ただ、当時はノンビリとフワ～ッと心地良い空気が流れていたように感じます。当然、20年前と現在とでは社会状況や価値観（介護観）が違うでしょうし、地域から求められているものも変わってきています。「昔は良かった」などと言う気は毛頭ありませんが、今この時代だからこそ、生活支援という観点からもその空気感は大切にしなければならないと思っています。

さて、何度も申し上げていることですが、20周年という節目にあたり法人では『初心・原点回帰』を活動スローガンに掲げました。これは前述の開設当初の空気感、すなわち創立者の想い・意志（基本理念）を継承していくことでしょう。そのためには【先輩職員】の力が肝要です。時代は変わろうが、脈々と先輩から後輩へ伝えて行かなければならぬものです。

さて、過去20年を振り返りました。それではこれから先（未来）はどうでしょう。この20周年のタイミングは法人にとって“ターニングポイント”だと捉え、様々な新しい事業・取り組みを計画しております。自動車に例えますと、フルモデルチェンジするぐらいのサービスもありますし、一部の改善・進化といったマイナーチェンジするサービスもあります。いずれにしろ、今まで以上に地域に根差して行くことを皆様にお約束いたします。

今後もご利用者様、ご家族様、関係者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

施設長 杉山 好文

各部門責任者の紹介



事務長 土屋廣昭

施設20周年の実績は何物にも代えがたい宝です。みんなでこの宝を増やし、もっともっと磨きをかけましょう。



特養主任相談員
杉山一彦

この仕事が10年続けられ感謝しています。これからも法人の為、利用者様の為自分の為に関りを大切にしたいです。



栄養科主任
大川 愛

これからも、時代の流れに即応した、喜ばれる食事作りを目指し栄養科一同、今後も頑張りたいと思います。



ながくぼティサービス事業所
主任 杉山堅一

ホームでの仕事が楽しいと日々感じられることに感謝しています。良い伝統を引き継ぎ、頑張ります。



ホームヘルプサービス事業所
主任 小泉よし子

利用者が住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らしつづけたいという気持ちに寄り添って、生活を支え、その家族も支援していきます。



特養介護主任
三野正道

創設20周年、自分はこの施設で10年、共に節目です。初心に立ち返り業務に取り組んでいきます。



特養看護主任
井出三恵子

このよき日に在職させて頂いていることに感謝致します。福祉施設での看護の役割を果たしていきます。



居宅介護支援事業所
主任 相澤 要

20周年を振りかえり、「人ととのつながり」の大切さを改めて実感しています。良い職場・仲間に感謝です。



希望のわだち柿田主任
渡辺信也

入社し早19年。途中、他の仕事に…。法人の家庭的で温かい雰囲気に助けられここまで来れたことに感謝しております。



社会福祉法人聖

平成十二年五月一日

訪問入浴介護事業開始

・配食サービス事業開始



平成十三年三月七日

生きいきテイルーム増設工事竣工

平成十三年四月一日

長泉町委託事業

・高齢者世話付住宅生活相談員派遣事業開始

平成十四年九月十九日

介護保険法施行に伴う事業（介護予防）開始

平成十八年四月一日

特養食堂娯楽室「旭の間」増築工事竣工

平成十八年十二月一日

学習療法開始



↑ 学習療法

↑ 配食サービス



↑ シルバーハウジング



↑ 訪問入浴車

↑ はつらつ脳の健康教室

はつらつ脳の健康教室開始

平成二十年十一月四日

訪問入浴車一台を被災地（岩手県石巻市）へ寄贈



平成十九年八月一日

清水町小規模多機能ホーム、デイサービス「希望のわだち柿田」開所



家族の園 歴史

平成三年八月五日

社会福祉法人聖家族の園設立

平成四年三月三十一日

建設工事竣工



平成四年四月十日

特別養護老人ホーム ながいすみホーム設置許可

平成四年四月十七日

ながいすみホーム開所式（定員50名）

平成四年四月二十一日

入園開始

平成四年五月七日

ショートステイ利用開始（定員20名）

平成四年六月一日

ながくぼデイサービスセンター開所



在宅介護支援センター開所



ホームヘルプサービス事業開始

平成六年三月一日
平成六年五月三十一日

初代理事長（杉山 旭）帰天

平成十二年四月一日

介護保険法施行に伴う事業開始

長泉町委託事業

・生きいきデイサービス事業開始



デイサービス



ショート居室



特養ホーム



生きいきデイサービス



『聖家族の園』の仲間たち

特養部門

相談員副主任
渡邊 竜

住み慣れたご自宅や地域で皆様の生活が継続されますよう私達は安心・安全なサービスを提供していきたいと思います。

介護副主任
間仁田由美

初々しかった20年前。ホームの成長と共に私も成長してきました。これからもよろしくお願い致します。

看護師
玉井純子

特養看護はこれからも利用者様のニーズを尊重し利用者様の健康の維持と生活の質の向上に努めていきたいと思います。

施設介護支援専門員
亀ヶ谷幸久

これからも「感謝の気持ち」を大切に業務に励んでいきたいと思います。皆様いつも本当に有難うございます。

介護員
渡辺 敦

職員、利用者の皆様とともに、これから10年、20年とホームの歴史をしっかりと刻んでいきたいと思います。



相談員



介護スタッフ



看護師



デイサービス部門



デイサービスでは今年一年を文字で表してみました。

『愛』

… 設立20周年を迎える、基本理念である「心に愛をもって…」を再認識する

『満』

… 利用者様に満足して頂けるよう、満面の笑顔で接し、満点を頂けるよう願って

いつの日か、自分たちもここで過ごしたいと思えるような憩いの場を提供し続けたいと思います。

事務部門



私たち事務職員は、ホームの運営管理、特に会計を扱う場所です。
また、インフォメーションの担当でもあり、一期一会の気持ちを大切に皆様をお迎えしております。
これからも、どうぞお気軽にお声を掛けてください。

栄養科部門



私たち栄養科では、利用者の皆様の食事を作っています。
これからも、皆様に美味しいと思って頂けるような食事作りを目指していきます。

居宅・支援部門



介護支援専門員



配食サービス配達員

私たち居宅介護支援事業所と在宅介護支援センターは、在宅で暮らすお年寄りの皆さんのが可能な限り自宅で暮らしていく様に相談や支援を行っています。配食サービスは高齢者のみの世帯に昼食を配達しています。食事を配達することはもとより安否の確認も同時に実行しています。これからも地域の皆様に信頼され愛される支援者になれるように日々努力したいと思います。また、ながいすみホームの歴史を一緒に刻んでいきたいと思います。

ヘルパー部門



私たち訪問介護事業所は、利用者が住み慣れた自宅でできる限り長く、自分らしく安心して生活できる様、また、介護しているご家族の負担を少しでも軽減できる様、排泄や食事の介助、掃除、洗濯、買い物、調理等の生活全般の援助をしています。明るく元気で笑顔があふれるヘルパーです。

希望のめだち林田（清水町）



き らきら輝く明日のために
ぼくも私も頑張ります!
う ちゅうで一番
の ってる仲間が集まつた
わ きあいあいの
だ い家族♪
ち いきと共に歩みます

利用者の皆様より感謝の言葉を寄せていただきました



特養・ショートステイ



佐藤栄子様

私なんて一番古くから入所している。長いことお世話になつてありがとうございます。

小柴すみ子様

担当の職員さんはじめ、他の職員さんには大変お世話になっています。これからもよろしくお願ひします。

佐藤敏子様

私は平成12年4月よりデイサービスにお世話になり、家ではホームヘルパーを利用して生活していましたが、4年前に特養でお世話になっています。特養はもちろんですが、それまでにお世話になつた方々には大変感謝申し上げたい。これからもよろしくお願ひいたします。

佐藤泰一様

入所時は、胃ろうでリハビリパンツを使用していましたが、今では、おかげ様で胃ろうも外し、バットも使用していません。これも職員皆様のおかげです。ありがとうございます。

三輪ヤス工様

「感謝、感謝」みんなでよく話しています。ここで大先輩に会え、人は話したことがないようなことも話し、聞いて涙を流したことありました。ここはいいとこですよ。

デイサービス

渡辺房子様

創立20周年おめでとうございます。私がお世話になって4年半になります。その間、職員の方には大変やさしくお世話して頂き有難く思っております。これから先、年は増えてゆくばかりなので益々手が掛かると思いますが、懲りずにお世話して頂きたいと心よりお願ひいたします。

「火・金と ホームに出掛ける その日には
心うきうき 身支度をする」

小嶋トシ子様（生きいきデイサービス）

色々学び、楽しく語り、美味のランチにおやつ…
充実している「生きいき」に感謝しています。

渡辺壽男様

創立20周年を迎えて御座います。

当時私の近所のお年寄3人が揃って入園された事を聞き、話し相手がいて良かったと記憶に残っております。私もその頃、園の下の処に（新東名の）少しばかり菜園があって30年前から健康と趣味を兼ねて行っていましたが、数年前から家内の具合が悪くなり、訪問介護・老老介護を行つて来ました。が、私も体調を悪くし、最近特に具合が悪く介護の限界となり数年前から入園を希望していたところ、22年12月家内の長期の入所、私の23年1月デイサービスが決まり本当に助かり有難うございました。

園の周りは閑静で緑の木々に包まれ環境の良い処です。室内では明るくして何でもよく行届いて快適です。職員は若い人が多く、皆美人揃いで誰彼の区別なく笑顔で良く面倒を見てくれ、いやな顔を見た事が有りません。その他、催してもいろいろ内容を考えてくれています。皆さん話題も豊富でユーモラスなどころも入れて楽しませてくれます。食事の味付も良く御飯の量も適当で満足です。送迎でも丁寧に扱ってくれまして、いつもありがとうございます。気持ちで一杯です。

この様に行き届いた園で過ごせる事は幸せです。これからもお互いの信頼と絆を深めて、健康に留意して一日も長く来られる様心掛けて行きます。

園の益々の繁栄を祈念致します。

山口竹松様

お婆ちゃんは長泉の出身で、ここながらいすみホームに約一ヶ月入居していました。食事を上手く食えたかは判らない。何せ歯がないから。私も午前中の空き時間を見て見舞いに行つたが寝ていることが多かった。20周年…、とりとめもなく思い出す。

編集後記

今回、創立20周年記念号を編集させて頂く中で、20年の歴史を振り返りしみじみと思い、また、これから新しい歴史を刻んでいくと新たな思いも起きました。

原稿を頂いた、職員の皆さん、利用者の皆さんご協力ありがとうございました。広報委員一同感謝申し上げます。

これからも読みやすい広報誌作りを目指して行きますのでよろしくお願い致します。

広報委員一同